

# みんなで作ろう 安心の街

令和2年8月号 No. 73  
(公財) 宮崎県防犯協会連合会

## 宮崎県の犯罪情勢（令和2年上半期）

今年上半期（1月～6月）における本県の刑法犯認知件数は1,926件で、前年同期と比べて70件増加しています。令和2年6月末現在における県内の犯罪情勢は、次のとおりです。  
なお、本統計資料の数値は暫定値です。

### 1 包括罪種別の認知件数

区分	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
令和2年	1,926	11	184	1,378	88	22	243
令和元年	1,856	5	193	1,324	77	23	234
増減	70	6	-9	54	11	-1	9

※ 刑法犯認知件数の約7割を窃盗犯が占めています。

### 2 重要犯罪の認知件数

区分	総数	殺人	強盗	放火	強制性交等	略取誘拐等	強制わいせつ
令和2年	27	3	1	1	6	1	15
令和元年	15	1	0	2	2	0	10
増減	12	2	1	-1	4	1	5

※ 平成29年7月施行の改正刑法により、強姦罪が強制性交罪に名称変更されました。

※ 重要犯罪の認知件数は、前年同期と比べて12件増加しています。

### 3 主要罪種・手口別の認知件数

区分	侵入盗	自転車盗	万引き	車上ねらい	詐欺	強制わいせつ	器物損壊等
令和2年	225	454	266	78	76	15	157
令和元年	166	454	254	118	63	10	146
増減	59	0	12	-40	13	5	11

※ 自転車盗が前年同期と同じ454件発生し、窃盗犯の3割以上を占めています。

### 4 特殊詐欺（うそ電話詐欺）の被害状況

区分	認知件数	前年同期比	被害額	前年同期比
宮崎（6月末）	5件	-5件	383万円	-1,607万円

※ 本年5月末現在における全国の認知件数は5,729件（前年同期比-863件）、被害額は約107億円（前年同期比-約19億円）と減少しているが、依然として深刻な状況が続いています。

## 休業中等の店舗を狙った窃盗事件に注意！

宮崎県では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県内に所在する接待を伴う飲食店や、持ち帰りや宅配を除く食事提供施設に対し、休業等の要請を行っています。県外では、これまで、休業中の飲食店等を狙った出店荒し、金庫破り、事務所荒し等の窃盗事件が発生していることから、県内でも発生が懸念されます。

#### ◎ 主な侵入方法

- ドア錠こじ破り～バールなどでドアをこじ開けて侵入する方法
- 無締り侵入～鍵を掛けていない窓等から侵入する方法
- ガラス打ち破り～ガラスを破損して建物内に侵入する方法

#### ◎ 適切な防犯対策をとり、被害を未然に防止しましょう！

- 出入口や窓の施錠を確実にを行う。
- 売上金は銀行に入金するなど、店内に現金を保管しない。
- 店舗に届く郵便物は、長期間放置せず、定期的に受け取る。
- 防犯性の高い鍵や防犯ガラスに交換し、犯人の侵入を防ぐ。
- 防犯カメラやセンサーライトの設置、警備会社のセキュリティサービスの導入など、店舗の防犯環境の向上を図る。